

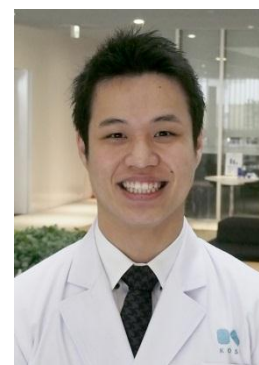
IFSCCドナバール賞2015 日本企業で初の受賞 ～ 若手研究員の描く化粧品科学の未来像に評価 ～

株式会社コーセー(本社:東京都中央区、代表取締役社長:小林 一俊)は、IFSCC(国際化粧品技術者会)が開催するMAISON G DE NAVARRE YOUNG SCIENTIST PRIZE 2015(IFSCCドナバール賞2015)を受賞しました。この賞は、若手研究員を対象に公募した小論文に対する名誉ある賞で、日本企業で初の受賞となります。

ドナバール賞とは、35才以下の若手研究員を対象にIFSCCが隔年で設けている賞で、2009年から始まり今年が4回目となります。化粧品研究に与えられた複数のテーマの中から選択した内容について小論文を執筆・審査される仕組みで、受賞者は各回1名のみとなっています。受賞者は、9月21～23日に開催されるIFSCCスイス中間大会に招待され、開会式で授賞式が行われる予定です。

受賞内容の概要

○受賞者 コーセー研究所 スキンケア製品研究室
チャイケンカイ アマタ 研究員



○受賞タイトル

**FROM AN ECO-FRIENDLY TO AN ECO-IMPROVING WORLD OF
COSMETIC SCIENCE**

Addressing Water Pollution in Emerging and Developing Societies

“環境に優しい”だけでなく“環境を改善する”未来のための化粧品科学

○受賞した小論文の概要

世界における化粧品のマーケットサイズは年々増加しており、特に新興国においてはその傾向が顕著です。一方、新興国では廃水管理が不十分であることが多く、水質汚染・環境汚染が問題となっています。そこで、化粧品の新たな役割として、“環境に優しい”だけでなく、使用することで“環境を改善する”機能が有用であると考えました。その解決策として、「Reduction(削減)」「Replacement(代替)」「Refinement(改善)」の3つのコンセプトを基に、環境に悪影響を及ぼす原料を極限まで使用せずに、環境に優しい原料のみを使用した“環境に優しい”化粧品の開発と、植物プランクトンの増減をコントロールすることで“環境を改善する”化粧品開発のアイデアを提言しました。

このニュースに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社コーセー 広報室 TEL 03-3273-1514(直通)